

処理施設の設置場所、設置年月日、施設の種類、産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式、構造・施設の概要

設置場所	施設の種類	設置年月日	産業廃棄物の種類	処理能力
宮城県仙台市宮城野区仙台港北2-14-3	焼却施設	平成14年11月20日	燃えがら	13.6t／日(0.567t／時間×24時間)
			汚泥	13.6t／日(0.567t／時間×24時間)
			廃油	12.9t／日(0.539t／時間×24時間)
			廃酸	13.6t／日(0.567t／時間×24時間)
			廃アルカリ	13.6t／日(0.567t／時間×24時間)
			廃プラスチック類	7.46t／日(0.311t／時間×24時間)
			紙くず	19.6t／日(0.815t／時間×24時間)
			木くず	19.6t／日(0.815t／時間×24時間)
			繊維くず	19.6t／日(0.815t／時間×24時間)
			動植物性残さ	17.4t／日(0.723t／時間×24時間)
			ゴムくず	19.6t／日(0.815t／時間×24時間)
			金属くず	2.4t／日(0.100t／時間×24時間)
			ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	2.4t／日(0.100t／時間×24時間)
			動物のふん尿	17.4t／日(0.723t／時間×24時間)
			動物系固形不要物	17.4t／日(0.723t／時間×24時間)
		平成14年11月20日	特別管理産業廃棄物の種類	処理能力
			燃えがら (カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム又はその化合物、ヒ素又はその化合物及びダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。)	0.54t／日(0.09t／時間×6時間)
			汚泥 (水銀又はその化合物カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機リン化合物、六価クロム又はその化合物、ヒ素又はその化合物及びダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。)	0.54t／日(0.09t／時間×6時間)
			廃油 (揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)	12.9t／日(0.539t／時間×24時間)
			廃酸 (水素イオン濃度指数2.0以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)	13.6t／日(0.567t／時間×24時間)
			廃アルカリ (水素イオン濃度指数12.5以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)	13.6t／日(0.567t／時間×24時間)
			感染性産業廃棄物	10.3t／日(0.428t／時間×24時間)

処理方式	構造及び設備の概要(焼却施設)			
回転式焼却炉(ロータリーキルン)方式	投入ホッパー	1台		自重、積載重量その他の加重、地震力及び温度応力に 対して、構造耐力上安全である。アンカーボルトで固定され ている。 燃焼ガス温度:800℃以上 燃焼ガス滞留時間:2秒以上 排ガスの処理方法:冷却塔、バグフィルター及び酸性ガス 除去設備(乾式法) 焼却灰の処分方法:固形化によるリサイクル及び管理型最 終処分場へ搬出 廃油の流出防止堤の構造:受入処理施設からの廃油の流 出を防止するための流出防止堤の設置 地下浸透防止方法:床面・側溝がコンクリート製不浸透性 構造 騒音・振動防止方法:一部建屋内への設置、防音壁の設 置、地盤面の被覆(コンクリート)
	投入プッシャー	1台		
	バーナータイル	1台		
	助燃バーナー	1台		
	ロータリーキルン炉	1台	耐火レンガ等	
	キルン駆動装置	1台		
	二次燃焼室	1台	耐火レンガ等	
	再燃バーナー	1台	ガンタイプオイルバーナー	
	排ガス冷却装置	1台	水シャワー式排ガス減温装置	
	サイクロン集塵器	1台	接線流入型サイクロン(高温型)	
	消石灰吹込み装置	1台		
	バグフィルター集塵	1台	払落方法:パルスジェット方式	
	誘引ファン	1台	ターボファン	
	灰出しコンベアー	1台		
	焼却灰バンガー	1台		

処理施設の設置場所、設置年月日、施設の種類、産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式、構造・施設の概要

設置場所	施設の種類	設置年月日	産業廃棄物の種類	処理能力
宮城県仙台市宮城野区仙台港北2-14-3	脱水施設 (有機汚泥)	平成14年12月25日	汚泥(有機汚泥) (水銀含有ばいじん等を含む)	60.0m ³ ／日(7.5m ³ ／時間×8時間)
				脱水機2基1施設 30.0m ³ ／日(3.75m ³ ／時間×8時間) (株)ヘリオスSK1000UP多重円盤型脱水機(北側) シリアル番号 SHE-001 30.0m ³ ／日(3.75m ³ ／時間×8時間) (株)ヘリオスSK1000UP多重円盤型脱水機(南側) シリアル番号 SHE-002
処理方式	構造及び設備の概要(有機汚泥脱水施設)			
多重円盤型方式	有機性汚泥脱水施設	スクリーン装置	掻き揚げ式バースクリーン	自重、積載重量その他の加重、地震力及び温度応力に対して、構造耐力上安全である。アンカーボルトで固定されている。騒音振動臭気対策が施されており、建屋内に設置されている。 ろ液の処理方法:活性汚泥方式 粉じん及び悪臭処理方法:ミスト装置(散水装置)の設置 騒音・振動防止方法:建屋内への設置、防音壁の設置、地盤面の被覆(コンクリート)
		計量タンク	三角堰式	
		曝気槽	消泡ポンプ、ディフューザー	
		沈殿槽	スカムスキーマ、沈殿槽ポンプ	
		処理水槽	放流ポンプ	
		汚泥濃縮槽ポンプ		
		曝気ブロワ	ルーツ型	
		薬注設備	苛性ソーダ、PAC、硫酸、高分子凝集剤	
		汚泥中継タンク	密閉丸型	
		脱水機	多重円盤型	
		脱水機	多重円盤型	

処理施設の設置場所、設置年月日、施設の種類、産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式、構造・施設の概要

設置場所	施設の種類	設置年月日	産業廃棄物の種類	処理能力
宮城県仙台市宮城野区仙台港北2-14-3	脱水施設 (無機汚泥)	平成29年12月1日	汚泥(無機汚泥) (水銀含有ばいじん等を除く。)	64.0m ³ ／日(8.00m ³ ／時間×8時間)
				脱水機2基1施設 32.0m ³ ／日(4.0m ³ ／時間×8時間) 富国工業(株)SHX800×5000Lスクリーンプレス シリアル番号 IM-0750【平成14年9月6日設置】 32.0m ³ ／日(4.0m ³ ／時間×8時間) 富国工業(株)SHX800×5000Lスクリーンプレス シリアル番号 IM-0809【平成29年11月20日設置】
処理方式	構造及び設備の概要(無機汚泥脱水施設)			
スクリーンプレス方式	無機汚泥脱水施設	No.1貯留槽(廃酸・廃アルカリ受入ホッパー)	RC製(受入槽)	自重、積載重量その他の加重、地震力及び温度応力に対して、構造耐力上安全である。アンカーボルトで固定されている。建屋に半格納されている。 ろ液の処理方法:加圧浮上処理 騒音・振動防止方法:建屋内への半格納設置、防音壁の設置、地盤面の被覆(コンクリート)
		No.2貯留槽(ポンプ圧送用汚泥ホッパー)	RC製(沈砂槽)	
		搬送コンベア	ストリンガー	
		攪拌槽	鉄骨鋼板製	
		原水調整槽	RC製	
		処理水槽	RC製	
		シックナー	鉄骨鋼板製、スカムスキマー付き	
		スラリータンク	鉄骨鋼板製	
		凝集反応槽	鉄骨鋼板製	
		凝集反応槽	鉄骨鋼板製	
		脱水機	スクリーンプレス	
		脱水機	スクリーンプレス	
		濾液槽	RC製	
		薬品タンク	鉄骨鋼板製	

処理施設の設置場所、設置年月日、施設の種類、産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式、構造・施設の概要

設置場所	施設の種類	設置年月日	産業廃棄物の種類	処理能力
宮城県仙台市宮城野区仙台港北2-14-3	破碎施設	平成23年5月25日	廃プラスチック類	23.2t／日(2.90t／時間×8時間)
			木くず	13.1t／日(1.64t／時間×8時間)
			繊維くず	10.6t／日(1.33t／時間×8時間)
			ゴムくず	17.8t／日(2.23t／時間×8時間)
			金属くず	21.7t／日(2.71t／時間×8時間)
			ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	22.6t／日(2.83t／時間×8時間)
	天日乾燥施設	平成14年12月25日	汚泥	44.0m ³ ／日
処理方式	構造及び設備の概要(破碎及び天日乾燥施設)			
二軸破碎方式	破碎施設	ホツパ装置	鋼製固定式	自重、積載重量その他の加重、地震力及び温度応力に対して、構造耐力上安全である。騒音、振動、臭気対策が施されており、建屋内に設置されている。 粉じんの処理方法:ミスト装置(散水装置)の設置 騒音・振動防止方法:建屋内への設置、防音壁の設置、地盤面の被覆(コンクリート)
		処理装置	2軸せん断式シュレッダ	
		排出装置	ベルトコンベヤ	
		エンジン	ディーゼルエンジン	
		油圧装置	可変容量型ピストン式、固定容量型ギヤ式	
		安全装置	非常停止スイッチ、リミットスイッチ、過負荷停止機能	
		走行装置		
天日乾燥方式	天日乾燥施設	天日乾燥ヤード	コンクリート製	地表水の流入防止方法:開きよ(側溝)設置 排水の処理方法:開きよ(側溝)から無機性汚泥施設へ返送し、脱水処理 地下浸透防止方法:コンクリート製土間設置

処理施設の設置場所、設置年月日、施設の種類、産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式、構造・施設の概要

設置場所	施設の種類	設置年月日	産業廃棄物の種類	処理能力
宮城県仙台市宮城野区仙台港北2-14-3	中和施設	令和6年4月15日	廃酸	処理量:0.64m ³ ／日(0.08m ³ ／時間×8時間)
			廃アルカリ	
		設置年月日	特別管理産業廃棄物の種類	処理能力
		令和6年4月15日	廃酸 (水素イオン濃度指数2.0以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。) 廃アルカリ (水素イオン濃度指数12.5以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)	処理量:0.64m ³ ／日(0.08m ³ ／時間×8時間)

処理方式	構造及び設備の概要(中和施設)			
薬剤添加、中和攪拌(バッチ式)	中和処理槽	攪拌機	SUS製	自重、積載重量その他の加重、地震力及び温度応力に対して、構造耐力上安全である。アンカーボルトで固定されている。
		pH測定器、耐熱pH電極		
		本体:200L	HTPVC製	
	薬液タンク (酸、アルカリ)	本体:200L	PVC製	汚泥の処理方法:脱水後、埋立又は焼却処理 排水の処理方法:中和処理後、凝集、脱水(排水処理) 地下浸透防止方法:床面・側溝がコンクリート製不浸透性構造
	各種ポンプ	原水、薬液注入、送水		

処理施設の設置場所、設置年月日、施設の種類、産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式、構造・施設の概要

設置場所	施設の種類	設置年月日	産業廃棄物の種類	処理能力
仙台市を除く宮城県内一円の排出現場内に限る。 (駐機場所: 宮城県仙台市宮城野区仙台港北2-13-8)	移動式 造粒固化、混練施設	平成24年9月19日	汚泥(造粒固化、混練)	320m ³ ／日(40.0m ³ ／時間×8時間)
			廃プラスチック類(混練)	
			金属くず(混練)	
			鋳さい(混練)	
			ばいじん(混練)	
		設置年月日	特別管理産業廃棄物の種類	処理能力
		平成24年9月19日	鋳さい(混練)	320m ³ ／日(40.0m ³ ／時間×8時間)
			(廃サンドブラスト材であって、鉛又はその化合物を含むことのみにより有害なものに限る)	
			ばいじん(混練)	320m ³ ／日(40.0m ³ ／時間×8時間)
			(水銀若しくはその化合物又は鉛若しくはその化合物を含むことのみにより有害なものに限る)	

処理方式	構造及び設備の概要(造粒固化、混練施設)			
移動式造粒固化、 混練機による薬品混合方式等	移動式 造粒固化、混練施設	原料土ホッパ	フィーダ型式: ベルトコンベア式	騒音防止方法: 各現場内に防音パネルの設置 粉じん処理方法: 各現場内で散水
		固化剤ホッパ	フィーダ型式: 回転テーブル式	
		解砕混合機	混合方式: ソイルカッタ+3軸ロータリハンマ	
		排出ベルコン		
		クレーン	型式: 3段伸縮式	
		駆動方式	走行、固化剤ホッパ、解砕混合機、排出ベルコン: 油圧式	
		エンジン	直噴+過給機	

処理施設の設置場所、設置年月日、施設の種類の種類、産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式、構造・施設の概要

設置場所	施設の種類の種類	設置年月日	産業廃棄物の種類	処理能力
宮城県仙台市宮城野区仙台港北2-13-8	焼却施設	令和7年2月10日	燃え殻	8.0376t／日 (0.3349t／時間×24時間)
			汚泥	9.2112t／日 (0.3838t／時間×24時間)
			廃油	17.6760t／日 (0.7365t／時間×24時間)
			廃酸	17.4528t／日 (0.7272t／時間×24時間)
			廃アルカリ	17.4528t／日 (0.7272t／時間×24時間)
			廃プラスチック類	10.8768t／日 (0.4532t／時間×24時間)
			紙くず	33.3336t／日 (1.3889t／時間×24時間)
			木くず	30.0480t／日 (1.2520t／時間×24時間)
			繊維くず	25.3560t／日 (1.0565t／時間×24時間)
			動植物性残さ	10.3968t／日 (0.4332t／時間×24時間)
			ゴムくず	20.2968t／日 (0.8457t／時間×24時間)
			金属くず	7.7592t／日 (0.3233t／時間×24時間)
			ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器く	7.8456t／日 (0.3269t／時間×24時間)
			鉱さい	8.7384t／日 (0.3641t／時間×24時間)
			動物のふん尿	9.6120t／日 (0.4005t／時間×24時間)
			ばいじん	13.3776t／日 (0.5574t／時間×24時間)
			動物系固形不要物	10.3968t／日 (0.4332t／時間×24時間)
		令和7年2月10日	特別管理産業廃棄物の種類	処理能力
			燃え殻	8.0376t／日 (0.3349t／時間×24時間)
			(カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、ヒ素又はその化合物、セレン又はその化合物及びダイオキシン類が判定基準を超えて含むものに 限る。)	
			汚泥	9.2112t／日 (0.3838t／時間×24時間)
			(カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、ヒ素又はその化合物、シアン化合物、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩 化炭素、1, 2-ジクロロエタン、1, 1-ジクロロエチレン、シス-1, 2ジクロロエチレン、1, 1, 1, -トリクロロエタン、1, 1, 2-トリクロロエタン、1, 3-ジクロロプロペン、チウラム、シ マジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物、1, 4-ジオキサン及びダイオキシン類が判定基準を超えて含むものに限る。)	
			廃油	17.6760t／日 (0.7365t／時間×24時間)
			(揮発油類、灯油類及び軽油類) (トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1, 2-ジクロロエタン、1, 1-ジクロロエチレン、シス-1, 2ジクロロエチレン、1, 1, 1, -トリクロロエタ ン、1, 1, 2-トリクロロエタン、1, 3-ジクロロプロペン、ベンゼン、1, 4-ジオキサンが判定基準を超えて含むものに限る。)	
			廃酸	17.4528t／日 (0.7272t／時間×24時間)
			(水素イオン濃度指数2.0以下のもの) (カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、ヒ素又はその化合物、シアン化合物、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩 化炭素、1, 2-ジクロロエタン、1, 1-ジクロロエチレン、シス-1, 2ジクロロエチレン、1, 1, 1, -トリクロロエタン、1, 1, 2-トリクロロエタン、1, 3-ジクロロプロペン、チウラム、シ マジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物、1, 4-ジオキサン及びダイオキシン類が判定基準を超えて含むものに限る。)	
			廃アルカリ	17.4528t／日 (0.7272t／時間×24時間)
			(水素イオン濃度指数12.5以上のもの) (カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、ヒ素又はその化合物、シアン化合物、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩 化炭素、1, 2-ジクロロエタン、1, 1-ジクロロエチレン、シス-1, 2ジクロロエチレン、1, 1, 1, -トリクロロエタン、1, 1, 2-トリクロロエタン、1, 3-ジクロロプロペン、チウラム、シ マジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物、1, 4-ジオキサン及びダイオキシン類が判定基準を超えて含むものに限る。)	
			ばいじん	13.3776t／日 (0.5574t／時間×24時間)
			(カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、ヒ素又はその化合物、セレン又はその化合物、1, 4-ジオキサン及びダイオキシン類が判定基準を 超えて含むものに限る。)	
			感染性産業廃棄物	19.2312t／日 (0.9167t／時間×24時間)

処理方式	構造及び設備の概要(焼却施設)		
乾溜ガス化炉、燃烧炉方式	焼却施設	投入装置	投入バケットモートルブロック 投入扉モートルブロック バケット
		乾溜ガス化炉	函体 乾溜空気ノズル 耐火材 乾溜空気調整弁 ガスダクトダンパー 着火バーナー 灰出装置
		バーナー炉	耐火材 制御バーナー
		燃烧炉	函体 耐火材 熱電対 差圧発信器 廃液滴下ノズル 廃油滴下ノズル 補助バーナー
		温水炉	函体、水管 ガラス管(水位計) 電極棒
		急冷塔	函体 耐火材 スプレーノズル コンプレッサー
		バグフィルター	函体 コンプレッサー ろ布 払落方法:パルスジェット方式 排出装置
		煙突	本体
		誘引ファン	1台
		押込みファン	5台
		薬剤サイロ	消石灰サイロ1台、活性炭サイロ1台
		CO、O2、HCl計	各測定機
		タンク	用水タンク2台
			自重、積載重量その他の加重、地震力及び温度応力に 対して、構造耐力上安全である。アンカーボルトで固定され ている。
			燃烧ガス温度:800℃以上 燃烧ガス滞留時間:2秒以上 排ガスの処理方法:冷却塔、バグフィルター及び酸性ガス 除去設備(乾式法) 焼却灰の処分方法:固形化によるリサイクル及び管理型最 終処分場へ搬出
			廃油の流出防止堤の構造:受入処理施設からの廃油の流 出を防止するための流出防止堤の設置 地下浸透防止方法:床面・側溝がコンクリート製不浸透性 構造
			騒音・振動防止方法:騒音・振動が発生する機器は防音加 工を施した箱内への設置、防音壁の設置、地盤面の被覆 (コンクリート)